

平成 27 年度 事業報告

法人全体

平成 27 年度パーマリィ・イン中道におきましては、施設全体での稼働率は 93%になっており、前年度より 2%増の結果となりました。

また、パーマリィ・イン千鳥山荘におきましては、施設全体での稼働率は 89%となってあり、前年度と同様の結果となりました。

続いて、パーマリィ・イン西神春日台におきましては、施設全体での稼働率は 89%となり、前年度より 3%減の結果となりました。

パーマリィ・イン中道

特別養護老人ホーム

平成 27 年度は 93%（前年比 1%減）の稼働率となりました。

年間を通して、医療機関への入院者が多く、入院期間についても長期になったことによる影響が大きかったと考えます。

事業計画としましては、施設内会議・研修 117 件実施、施設外研修 60 件参加し、実習生は 11 名受け入れ、ボランティアの方々には 389 名受け入れております。

短期入所生活介護

平成 27 年度は 95%（前年比 4%減）の稼働率となりました。

長期利用予定者の入院や近隣に新規開設した施設への入所される方が続いた影響と考えております。

通所介護

平成 27 年度の稼働率は 90%（前年比 2%増）となりました。

近隣の居宅介護支援事業者への定期的な事業者案内の配布を行うとともに、ご利用者のニーズに応じた送迎時間を柔軟に行い、新規利用者の増加につながったと考えます。

訪問介護

年間を通して、利用登録者数はほぼ横ばいでしたが、冬季に入院をされる方が重なり、サービス提供時間数が減少することは見られました。

居宅介護支援

平成 27 年 9 月より 1 名のケアマネジャーが千鳥山荘への異動となりプラン件数の減少が見られております。また冬季にはお亡くなりになられた方も複数名見られたため、全体を通して減少傾向の結果となりました。

地域包括支援センター

介護予防プラン作成のほか、地域の高齢者が安心した生活を継続できるよう、医療・福祉・地域との連携はもちろんこと、虐待や対応困難事例に関しては、区あんしんすこやか係り等、行政や関係機関と協働し、年間 17 件の問題解決に努めました。前年度と比較すると 11 件減少しておりますが、電話による通報・相談件数は 83 件と前年度より 40 件以上も増加しております。

センター主催にて、研修会や連絡会を開催し、民生委員や婦人会、自治会の参加、また圏域の居宅介護支援事業所や訪問介護事業所等も加わった、地域見守り支援者のネットワーク作りを構築、住民相互の見守り意識を高めるための啓発を行ない、地域との深い係わり合いを持たせていただきながら、活動を行いました。

地域支え合い活動推進事業

区社会福祉協議会・民生委員・婦人会・自治会等の地域見守り支援者との、顔の見える関係作りと連携、また茶話会やウォーキンググループ活動等を行ない、地域のコミュニティ作りを行ないながら、地域の把握・見守りに努めました。

介護機能強化モデル事業（LSA）

ルゼフィール中道住宅の住民の方々に対して、訪問活動や電話による安否確認、また生活相談を行いながら、必要時は行政や担当ケアマネジャー、地域包括支援センター等、各関係機関と連携し、安心して暮らせるための支援を行ないました。

モデル事業として安否確認の機能も果たす配食サービスの提供を行い、年間の月平均 234 件行いました。

平成 27 年度 事業報告
パーマリィ・イン千鳥山荘
特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームでは、重度化が進んでいる中、入院者数の延べ人数が年間 26 人（前年度比 6 人減）。入院延べ日数では、年間 339 日（前年度比 104 日減）となっており、前年度と比較すると 1.00%増加しました。

施設行事等に関しましてはボランティア等の受け入れを積極的に行い、また地域で開催している、防災訓練や、ふれあい喫茶に参加するなどし、地域との繋がりを強化することにより、地域交流が深まり充実した内容となりました。施設内会議・研修は 303 件実施、施設外研修には 26 件参加しました。また、ボランティアの方々は約 200 名受け入れ、実習生に関しましては 54 名の受け入れとなりました。

短期入所生活介護

短期入所生活介護では、ユニット型個室の特性を背景にサービスを展開し、リピーターの利用者を中心に個別対応を強化しました。施設入所や体調不良によるキャンセルもあったものの、急な受け入れに対し迅速な対応を行いました。

通所介護

通所介護では、継続した新規獲得の為、地区の地域包括支援センターや各支援事業所と連携を密に取り、新規利用依頼に対し迅速な面接を行うなど受け入れ体制を強化しました。利用者の個別対応や、ケアプランの見直しを行ない、サービス面で質の向上に努め、定期利用者数が増加に繋がりました。

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護では、当サービスの利点の柔軟性を強化し、利用者・家族の要望に沿った送迎体制と迅速な受け入れや、さまざまな形態の要望に沿えるよう努力した結果、提供サービス全体のバランスも良くなり、サービス提供における受け入れ範囲が増す事により、その結果安定した運営が維持できました。

訪問介護

訪問介護では、利用者の入院・入所が多く見られましたが、地区の地域包括支援センターや各支援事業所との連携を保ち、新規利用者の獲得に迅速に対応する事により安定したサービス提供を行なえました。

居宅介護支援

居宅介護支援では、近隣のあんしんすこやかセンターとの会議等に積極的に参加し連携を強化する事により、新規利用者の獲得が順調にでき、またサービス面においても利用者や家族の要望に柔軟に対応できるよう、担当者会議等を有効に活用して利用者や家族と各サービス事業者との調整を随時行うことにより、安定した運営を維持できました。

特別養護老人ホーム

平成 27 年度は、開設 5 年目で開設当初より入居されていた利用者が体調を崩される事等の背景もあり、年間で 40 名近くの入退所がありました。前年度と比較すると入退所数が増加していますが、円滑に手続きを行う事で年間の稼働率は 92%の稼働となりました。

施設行事等に関しましては、昨年度同様に隣接する滝川第二中・高等学校と関わる機会を多く持つ事が出来ました。また、地域で災害時の避難所としての役割を担う事で、地域の方々と防災訓練等に関わる機会も増え、交流が深まった内容となりました。施設内外の研修は 143 件行い、実習生の受け入れは延べ 12 名となっています。ボランティア活動に関しては、年間で延べ 565 名もの皆様に活動をして頂いています。

ケアハウス

平成 27 年度は、年間で 92%の稼働率となりました。開設時から入居されている利用者には、介護度の増悪がみられ、長期の入院をする方も多く、中には重篤化し、退所になられる利用者もおられました。入居に関しては近隣の医療施設との連携を図り、申込みから入居までを速やかに行う事が出来ています。

短期入所生活介護

平成 27 年度は、年間で 92%の稼働率となりました。特別養護老人ホームに入居希望されている方への円滑な入居や特別養護老人ホーム入院中の空床利用を行う事で地域住民の方々にショートステイの役割を果たす事ができました。

通所介護

平成 27 年度は、年間で 80%の稼働率となりました。昨年度に比べ稼働率は下がってはいますが、6 月よりサービスの提供時間を伸ばす事で、要介護者の単位数が上がった為、安定した収入を確保しています。

訪問介護

平成 27 年度は、前年度と比較し急な入院等の理由により利用者数の低下も見られましたが、年間を通じて見ると、昨年度に比べ延べ利用回数・時間共に利用率の伸びが見られています。

居宅介護支援

平成 27 年度は、地域の平野西神あんしんすこやかセンターをはじめ、同区のあんしんすこやかセンターとの関係性も良好で継続して依頼も頂いており、安定した利用者数の確保に繋がり、安定した運営ができております。